



平成23年10月25日

## 横浜市が採取した堆積物及び 堆積物の採取箇所の周辺土壌の放射性核種分析 の実施について

横浜市が採取した堆積物及び堆積物の周辺土壌の放射性核種分析を実施しますので、お知らせします。

### 1. 本調査の実施目的

文部科学省は、横浜市が放射性ストロンチウムについて分析を実施した堆積物（別紙参照）及び堆積物が採取された箇所の周辺の土壌について、核種分析を実施する。

### 2. 本調査の詳細

核種分析者：(財)日本分析センター

分析試料：横浜市が放射性ストロンチウムについて分析を実施した堆積物(2試料)及び当該堆積物が採取された箇所の周辺の表層5cmの土壌(2試料)

対象項目：単位重量あたりのセシウム134、137の濃度【Bq/kg】  
単位重量あたりのストロンチウム89、90の濃度【Bq/kg】

分析手法：放射性セシウム：ゲルマニウム半導体検出器  
放射性ストロンチウム：低バックグラウンドベータ線測定装置

分析期間：3週間程度

<担当> 文部科学省 原子力災害対策支援本部  
堀田(ほりた)、奥(おく)(内線4604、4605)  
電話：03-5253-4111(代表)  
03-5510-1076(直通)

## いわゆるマイクロスポット堆積物のストロンチウムの測定結果について

本市では、市民の方からの情報に基づき局所的に高い値の放射線量が測定されるいわゆるマイクロスポットを確認し、その測定・除去等を行っています。当初、情報をいただいた市民の方がご自分で採取した検体から、ストロンチウムが検出されていることから、本市でも確認のためストロンチウムとセシウムの検査を同位体研究所に依頼しました。その結果と今後の対応について報告します。

### 1 ストロンチウム測定結果

9月17日に公表した港北区大倉山と新横浜周辺の堆積物を核種分析した同じ検体でストロンチウムの測定を行いました。

番号	検体の採取地点	ストロンチウム 89 と 90 を合計した核種分析結果 (対 Cs137) ※	セシウム分析結果 (Bq/kg)		
			合計	Cs137	Cs134
1	(土木事務所周辺) 道路側溝雨水柵の周辺の堆積物	129 Bq/kg (0.60%)	39,012	21,385	17,627
2	(新横浜周辺) 道路区域内の噴水施設 (停止中) の底部の堆積物	59 Bq/kg (0.35%)	31,570	17,008	14,562

※文部科学省の調査 (9月30日公表) ではセシウム 137 に対するストロンチウム 90 割合は、0.016~5.8%でした。今回の検査はストロンチウム 89 と 90 を分離できない検査のため、セシウム 137 に対するストロンチウムの合計の値を示しています。

### 2 本日の対応

ストロンチウムの存在が確認されたことを受け、横浜市災害対策本部放射線対策部会議を開催し、次の点を確認しました。

- ① 国 (文部科学省等) に測定結果等の情報提供を行う。
- ② 国が東京電力福島第一原子力発電所から半径 100 kmで行っている、ストロンチウム等の調査範囲を本市内も含め拡大することを要望していく。

### 3 今後の本市の対策

- ① マイクロスポット対策を継続してまいります。
- ② 市民不安を解消するための情報提供も併せて行ってまいります。

お問い合わせ先			
健康福祉局	健康安全課担当課長	倉持ジョンロバートカー	Tel 671-2468